

令和元年度の市政運営の基本方針

希望と笑顔があふれるまちづくり

府中市の持つ強みをさらに磨き上げ、まちの魅力を創出するための重点施策として、子育て、教育、ものづくり産業の発展、賑わいづくり、ICTの推進などの各分野に主要事業を位置付け、注力しました。

令和元年度では総合計画をはじめ、グランドデザイン、産業振興ビジョン、観光振興ビジョン、地域福祉計画など、府中市の将来を見据えた各種計画策定を進め、目指すべき方向性を明確にすることができました。

策定した主な計画

- 第5次府中市総合計画
- グランドデザイン
- 産業振興ビジョン
- 観光振興ビジョン
- 地域福祉計画
- 障害者福祉計画
- 子ども・子育て支援事業計画
- 健康ふちゅう21

※一部、令和2年度に繰り越して策定したものを含んでいます。

令和元年度
計画

令和2年度
実行

その先へ

第5次府中市総合計画

将来像
しあわせ実感！
”力強さ”と”やさしさ”のある未来を創造するまち 府中市

産業

産業振興
ビジョン

子育て
教育

子ども・
子育て支援
事業計画

賑わい

グランド
デザイン

観光振興
ビジョン

福祉
健康

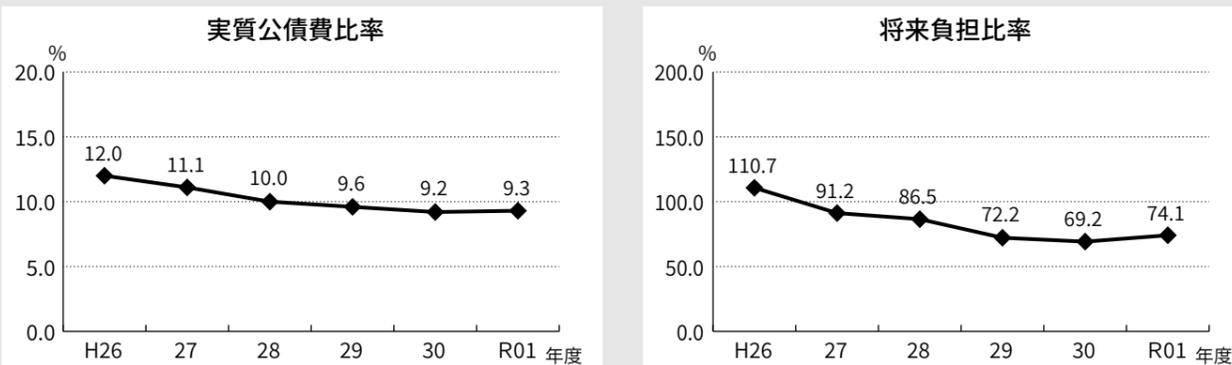
地域福祉・
障害者福祉
計画

健康ふちゅう
21

令和2年度は計画策定から実行に移す年として、力強くさらに前進するための取り組みを進めています。

健全化判断比率とは、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして毎年の公表が義務付けられた4つの財政指標のことで、令和元年度の数値は全ての基準をクリアしています。
また、公営企業会計（水道事業会計、病院事業会計、下水道事業特別会計）の資金不足比率も公表が義務付けられていますが、全ての事業において資金不足はありません。

健全化判断比率の推移

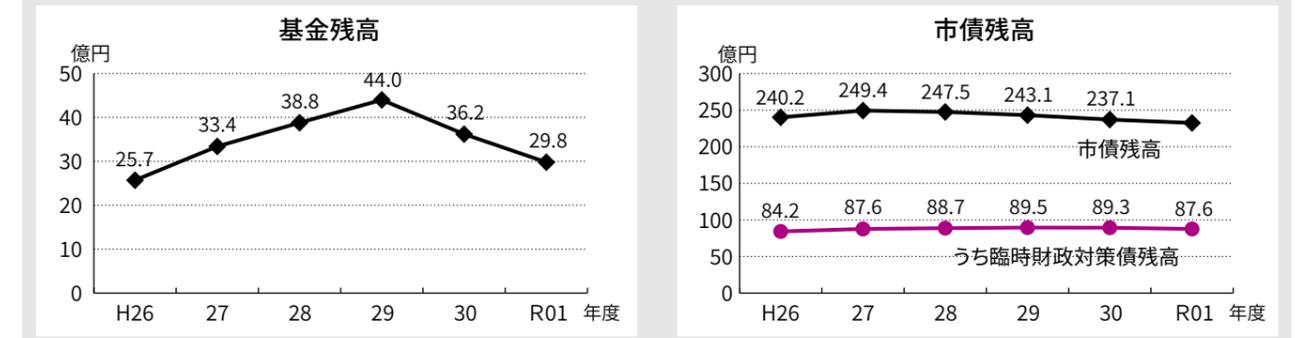


早期健全化基準（25%）を大きく下回って推移しています。比率は若干増加しています。

早期健全化基準（350%）を大きく下回って推移しています。比率は基金が減少したことにより増加しています。

指標名	早期健全化基準	府中市	指標名	早期健全化基準	府中市
実質赤字比率 一般会計などの実質赤字の比率	13.10%	－ (黒字)	実質公債費比率 一般会計などが負担する公債費などの比率	25.0%	9.3%
連結実質赤字比率 全会計の実質赤字の比率	18.10%	－ (黒字)	将来負担比率 地方債残高などの一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の比率	350.0%	74.1%

基金残高（貯金）・市債残高（借金）の推移



市の貯金である一般会計の基金残高は、増加を続けていましたが、平成30年度からは、災害に対する強靱化や将来を見据えた重点事業の積極的な推進により、基金の取り崩しにより減少しています。

市の借金である一般会計の市債残高は、順調に減少しています。そのうち、4割弱は国の財政措置がある臨時財政対策債の残高になります。